

代表質問

市川市議会では、年4回の各定例会で、交渉会派（所属議員3人以上の会派）の代表による代表質問を行います。6・9・12月定例会における各会派の発言時間は、原則3日間の総会議時間を、質問通告のあった会派の所属人数に応じて割り振って決定します。今回の6月定例会では、市長の所信表明及び市長提出議案等その他市政全般を対象として代表質問を行いました。質問は総括質問者が行う他、補足質問者を立てることができます。ここでは、会派が指定した項目の主な内容を掲載しました。

※6月定例会の代表質問は6月13日に通告を締め切り、6月20日から3日間の日程で行いました。

創生市川

〔総括質問者〕

稲葉 健二

国松ひろき

石原たかゆき

小泉 文人

加藤 武央

松永 修巳

岩井 清郎



ペットの飼養

〔問〕

法改正により、令和4年6月1日以降に販売される犬や猫へのマイクロチップ装着などが、販売業者に義務付けられた。市はこれに合わせ、一般の飼い主が犬や猫にチップを装着する際の費用を助成できないか。また、市はマナー条例などで犬の飼い主のマナー向上に取り組んでいるが、猫の飼い主へのマナー啓発を望む。

〔答〕 犬の飼育主が犬や猫にチップを装着する際の費用の助成については、横浜市や鎌倉市、町田市などで既に実施されている。これらの事例を参考にしながら、遜色のない形で、早い時期に、当該補助金を補正予算に計上できるように検討していきたいと考えている。また、猫の飼い主へのマナー啓発については、室内飼育を促すポスターなどを自治会の掲示板を始め、広く市民の目に触れる場所に掲示することが効果的と考えられており、内容に応じた掲示場所を検討していきたい。

宅地開発条例

〔問〕 市は、緑あふれた秩序ある町並みを維持するため、宅地開発条例を遵守せざるに風致地区を指定し、各種開発行為に一定の制限をかけている。その風致地区（八幡5丁目）において現在、宅地開発条例を遵守せざるに宅地開発を進める動きがあるが、当該条例を見直す必要性について市の見解を問う。

〔答〕 八幡5丁目における建築工事については、近隣住民への説明など、宅地開発条例に定める手続きの一部が終了しておらず、指導を継続しているところである。当該条例の見直しについては、指導項目などを見直すことは可能だが、工事の停止など強制力の面で限界がある。そこで、地区の特性に応じた良好な住環境を整備、維持、保全するために、地域住民の理解・協力の下、地区計画や建築協定などの制度を活用することが有効と認識している。

（仮称）八幡市民複合施設

〔問〕 八幡市民複合施設については、現在、基本設計の作成が最終段階に入っているとのことである。当該施設に対しては、子どもたちの居場所や、子どもに関する相談などが気軽にできるスペースを作りたいなどといった意見が寄せられている。今後、市はどのように要望を整理し、

学校給食

〔問〕 小中学校において、学校給食の無償化を進めることは大切である。しかし、

〔答〕 最も重要なことは安全安心な給食の提供であり、給食の質が低下することなどがなく、慎重に対応する必要がある。今後、市は無償化をどう進めるのか。また、市は地産地消を進めるとともに、給食を通じてその大切さを子どもたちに伝えていくことも重要である。今後の市の取り組みを問う。



学校給食の様子

日本共産党

〔総括質問者〕

清水みな子

やなぎ美智子

〔補足質問者〕

廣田 徳子

高坂 進

金子 貞作



児童虐待の現状と課題

〔問〕 コロナ禍において児童虐待の報道が後を絶たない。

〔答〕 令和3年度、本市において新たに受け付けた児童虐待の相談件数は1000件を超えており、その相談に対応する職員の数が足りていないか心配である。そこで、

講師不足の改善策

〔問〕 本市における公立小中学校教員の欠員は令和3年度33人、4年度も6月1日現在、14人となっている。このような状況下では、児童生徒やその保護者は不安を拭ききれないと思われるが、講師不足の現状に対して、市は具体的にどのような改善策を考えているのか。

〔答〕 本市では、教員の欠員が生じ、代わりの講師が配置できない学校に対して、当該校の担任外の教員が欠

生理の貧困対策

〔問〕 県の教育委員会では、4カ月間、モデル校で生理用品配布状況を調査し、令

〔答〕 本市が3年5月に各小中学校に配布した720個の生理用品は、小学校で約180個、中学校で約190個活用されている。保健室で手渡す学校が大半だった中、自由に持ち出しのできるトイレの個室内や洗面所付近に生理用品を置く学校が増加している。加えて、より広く周知できるよう、トイレに掲示したり、メールで保護者に周知したりしている学校も増加傾向にある状況である。また、今後の対応としては、配布した生理用品がなくなった

後にも生理用品を学校に常備していききたいと考えている。そのため、適切に対応

間に地産地消への理解を深めていききたいと考えている。



生理の貧困対策が実施されている学校（市川市立塩浜学園）